

# 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございませう。本年は5月に新元号となり、「平成」から新たな時代の幕が開けます。昭和63年開業の三河安城駅は昨年30周年を迎えましたが、現在の駅周辺は安城の新都心の様相を呈するほどで、平成の時代は人口増加とともに本市が持続的に発展してきたことがわかります。

昨年は、老朽化した公共施設の改修を進めました。その結果、4月の市体育館を皮切りに、7月にはソフトボール専用球場と、旧図書館を改修した「子ども発達支援センター あんステップ」に、さらに11月には文化センターを、順次リニューアルオープンしました。多くの皆さんにご利用いただきたいと思います。

本年は、特に子どもたちを取り巻く環境の整備を進めます。まず、早急に幼稚園や小中学校へのエアコンの設置を行ってまいります。また、急増する保育需要に対応するため、2月に和泉保育園が改築オープンします。さらに、4月に桜町と堀内町に新たに民間保育所を誘致するとともに、既存の安城幼稚園とさくらの幼稚園をこども園に移行し保育環境の整備を図ってまいります。

そして、これから市内各地で、地域経済の活性化への動きが具体化します。北部では、名鉄新安城駅改築の他、主要地方道名古屋岡崎線団地におきましても、進出される企業が内定しつつあります。JR安城駅周辺の中心市街地では、民間による複合的な拠点施設の建設が始まり、一層の市街地活性化が期待されます。この他、三河安城地区におきましても、駅周辺の再整備と新たな区画整理事業を検討してまいります。

本市は「幸せつながる健康都市安城」を目指しています。皆さまがこのまちで暮らされることが、市民のケンサチ生活につながるような施策とまちづくりを進めてまいります。市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



安城市長 神谷 学

新年、明けましておめでとうございませう。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭にあたり、市議会を代表しまして謹んでご挨拶を申し上げます。

今年、天皇陛下ご退位という日本にとって大変大きな節目の年を迎えました。30年間馴れ親しんでまいりました、「平成」の時代も残すところあと4か月となりました。

この「平成の30年」を振り返ってみますと、平成の時代は、バブル崩壊という未曾有の不景気から始まり、銀行が大量に抱え込むことになった不良債権は、銀行経営を悪化させ大きなツケとして日本経済低迷の元凶となり、後に「失われた20年」と言われるほどの爪痕を残しました。その後何度かの景気回復・後退を繰り返し、現在では「アベノミクス」の効果もあり、景気は引き続き回復傾向にあると言われています。

また、世界情勢に目を向けてみますと、「ベルリンの壁」の崩壊、東西冷戦の終結宣言、EU（ヨーロッパ連合）の発足等、世界中が恒久平和へ向け大きな一歩を踏み出した一方、湾岸戦争の勃発やアメリカ同時多発テロに端を発したアフガニスタンでの報復戦争、そしてイスラム国の暴挙等、紛争や戦争状態は現在まで各地で続いています。

このような激動の30年を経て、新しい時代が始まろうとしているからこそ、安城市の真価を発揮して、安城市民の幸福を願う次の時代に向けて新たなスタートをすべき時と考えます。

安城市がより活力のある住みよいまちへと更なる発展を遂げていく年となるよう、また、市民の皆さまが健やかに暮らしていただけるよう、市議会といたしましても全力を尽くしてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が市民の皆さまにとって輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



安城市議会議員 野場 慶徳